

## 鉄道模型の趣味

駒井謙治郎 (昭和38年卒)

子供の時の夢を実現するべく、鉄道模型の遊びを10年ほど前から再開した。子供の時はやっと買って貰った1台の電気機関車を大事に大事にして、もっと欲しいという思いも当時は鉄道模型は結構高価だったから親に言い出しかねての日々であった。現在はプラスチック模型が普及し値段も大幅に安くなったことや、鉄道模型の世界でも技術革新が大幅に進んでその楽しみ方も格段に多様化・深化している。ここでは鉄道模型の技術革新内容と駒井鉄道の概要を紹介したい。



### 【情景】

駒井鉄道室のレイアウトの一方からの眺めの昼景である。鉄道模型室は3階に増築したため屋根裏構造である。収納式階段を上がればそこは誰にも邪魔されない至福の時が待つ天国で、屋根裏に上がれば電話がかかってきても出ない。16.5ミリの超広角レンズで撮影した。



### 【夜景】

昼間でも夜景を実現するため，窓は全て塞いである．

## 1．鉄道模型の楽しみ方

鉄道模型はだいたいのところ，次の 3 派に分類されるようである．

### ・車両こだわり派：

黄銅（真鍮）を主材料として，ハンダ付けで車両を自作する自作する人たちがなんとと言ってもその主流である．この一派には旋盤，フライス盤等の工作機械を駆使して，シリンダーやバルブ類まで自分で作る本格派から，部品一式が揃った組み立てキットを購入して組み上げる簡易派までである．日本人のもって生まれた特性であろうか，手間暇惜しまずこれでもか，これでもかと言うほど細部まで造り込み，その精細度を自慢することが多いようである．造るのがもう一つという車両収集派も結構多い．専ら市販の模型を収集方針に沿って買い集める人たちで，自宅に立派な陳列戸棚を作って日夜手にとって楽しむ．

### ・情景造り込み派：

幼少時を懐古して昔懐かしい風景を丹念に製作し，その中を鉄道模型を走らせる一派である．自分の創意工夫が全面に生かせる分野で，市販の情景素材は言うに

及ばず、樹木を実際の枯れ枝を細工して実物通りに植え込むとか、とにかくこれも手間を惜しまず労力をつぎ込む。自然の情景再現には自然素材を用いるのがベストで、駒井鉄道でも庭の枯れ枝を集めてものになりそうな枝に、市販の樹葉を接着剤で貼り付けている。最近の鉄道模型ブームで、テレビ等でも「鉄ちゃん」番組としてよく取り上げられるのは専らこの情景派である。なお、「鉄ちゃん」が鉄道に興じることを「鉄分を補給する」と揶揄する。

・レイアウト走行派：

レイアウトを作り上げその上をばんばん車両を走らせる一派で、小生もこれに属する。大抵最初は畳派からスタートして、畳の上にレールを敷設して走らせ始めるが、なんと言っても鉄道模型に大敵のほこり対策が不可能なこと、家族に理解がない場合にはじゃまもの扱いされてだんだん肩身が狭くなること、配線が錯綜して始末に負えなくなることから、畳派では本格的な走行は楽しめない。駒井鉄道では屋根裏専用室を増築して初めて「レイアウト製作＋走行派」として安住の地を得た。雑誌「鉄道模型趣味」の略称 TMS は鉄道模型に取り組むために必要な、「Time Money Space」(時間、費用、場所)の略だと皮肉られることもあり、この趣味を楽しむ最大の障害は何といっても場所である。

(つづく)

## —— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

京機短信の原稿がまた底をつきました。読者各位のご投稿を期待しています。難しく考えずに、気楽に思いつく事などを書いてください。時評的な記事も大歓迎です。また、同総会の案内も掲載致しますのでご利用下さい。

### 【要領】

宛先は京機会の e-mail : [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。

宜しくお願い致します。